

※塗りつぶした図書は、対象期間外です

NDC	出版社名	書名	著者名	出版年月
757.021	プレジデント社	幸福な食堂車 九州新幹線のデザイナー水戸岡鋭治の「気」と「志」	一志治夫 // 著	2012年7月
コメント① 自分の信念を貫き、納得のいく仕事をする姿に格好良さを感じる。その信念が人に温かいのもとてもいい。				
645.7	幻冬舎	ジワジワ来る猫猫	片岡K // 著	2012年7月
コメント① ただのかわいい猫写真集とは一味違う。写真についての絶妙なコメントが大好き。				
369.37	童心社	さがしています	アーサー・ビナード // 作、岡倉慎志 // 写真	2012年7月
コメント① 広島原爆を体験した「モノ」が語る言葉が、静かに深く胸に迫る。				
289.1	中央公論新社	宇宙飛行士になる勉強法	山崎直子 // 著	2012年8月
コメント① 幼少時からの軌跡をたどると、宇宙飛行士になるのに回り道をしているようでそうではない、どこかで宇宙飛行士になるのに役立っているという生き方が素敵だと思う。				
24.12	小学館	復興の書店	稲泉連 // 著	2012年8月
コメント① 本を届けようとする書店員。本を求めたくさんの人。やはり本を必要とする人はたくさんいるんだとうれしくなる。				
673.93	ポプラ社	おもかげ復元師	笹原留似子 // 著	2012年8月
コメント① 故人を安らかな表情に戻して棺に納める復元納棺士。あまり表に出ないけれど、とても大切な仕事だと思う。				
338.7	文藝春秋	督促OL修行日記	榎本まみ // 著	2012年9月
コメント① 年間2000億円の債務を回収する督促OLのサバイバルな日常。				
209	文藝春秋	137億年の物語 宇宙が始まってから今日までの全歴史	クリストファー・ロイド // 著、野中香方子 // 訳	2012年9月
コメント① 歴史の大きな流れを感じることができる。色々な読み方ができる。				
702.37	河出書房新社	イラストで読むレオナルド・ダ・ヴィンチ	杉全美帆子 // 著	2012年9月
コメント① 多才すぎて謎めくダ・ヴィンチの生涯と作品をわかりやすく解説。				
375.19	キネマ旬報社	「こどもと映画」を考える 13才までに見せたい名作映画50ガイド	キネマ旬報社 // 編	2012年10月
コメント① たまには、教科書ではなく映画でベンキョウしてみては？				
141.8	大和書房	スタンフォードの自分を変える教室	ケリー・マクゴニガル // 著、神崎朗子 // 訳	2012年10月
コメント① 自分を見つめなおすきっかけになる本。難しいかもしれないけど背伸びして読んで欲しい。				
699.21	新潮社	中の人などいない@NHK広報のツイートはなぜユルい？	NHK PR1号 // 著	2012年10月
コメント① ツイートしている人も、読んでいる人も、その他大勢ではない、誰かだな、と思えます。				
159.7	集英社	伊集院静の「贈る言葉」	伊集院静 // 著	2012年10月
コメント① 新成人と新社会人に向けた贈る言葉。高卒で就職する子には新社会人向けにパチツとはまり、進学する子に今今の自分、これからの自分を考えるきっかけとしてほしい。				
782.3	ダイヤモンド社	走りながら考える 人生のハードルを越える64の方法	為末大 // 著	2012年11月
コメント① 挫折からの立ち上がり方の、モデルの一つとして提示できればと思う。自分なりに「やりきる」ことが大事、という考え方に共感する。				
914.6	角川書店	下に見る人	酒井順子 // 著	2012年11月
コメント① いじめはなぜ、なくならないのか？子供の頃「いじめられていた」という話はよく聞くのに「いじめていた」という話を聞かないのはなぜか？人はどんなとき他人を下に見るのか？著者の体験に基づいて「下に見る」考。				
コメント② 女子を学びましょう。				
673.93	集英社	エンジェルフライト 国際霊柩送還士	佐々涼子 // 著	2012年11月
コメント① 海外で亡くなった方を家族のもとへ送り届ける仕事。それに携わる人たちの姿に涙。				
740.49	モクシュラ	世界は小さな祝祭であふれている	小野博 // 著	2012年11月
コメント① エッセイを読まない高校生は多いが、こんな素敵な世界があることも知ってほしい。				
289.1	小学館	僕の死に方 エンディングダイアリー500日	金子哲雄 // 著	2012年11月
コメント① 「有名だから」という理由で人の死が目目されるのは好きではないし、亡くなってから崇めても遅いと思う。それでも、この人の「死に方」はやはり尊敬してしまおうし、読む人の何かを変えようと思う。たくさんの人に読んでほしい。				
070.16	日本テレビ放送網	山本美香という生き方	山本美香 // 著、日本テレビ // 編	2012年12月
同じような仕事をすることは難しいかもしれないが、その心意気を感じてもらいたい。				
726.101	朝日学生新聞社	はだしのゲンわたしの遺書	中沢啓治 // 著	2012年12月
コメント① 広島原爆投下から二十数年後、火葬場で見つめた母の骨は原形を留めていなかった。『はだしのゲン』は哀悼ではなく、理不尽なものへの「怒り」から生まれた。2012年12月に死去した漫画家・中沢啓治氏の自伝。				
404	毎日新聞社	気になる科学 調べて、悩んで、考える	元村有希子 // 著	2012年12月
コメント① 気楽に科学入門してみませんか？				
748	徳間書店	跳ばずにいられないっ！ ソラリーマンジャパン・ツアー	青山裕企 // 著	2012年12月

コメント① 日本のサラリーマンが跳ぶ！働くおじさんの写真集。いろんなポーズが楽しい。				
159	角川書店	挫折を愛する 角川oneテーマ21 C-237	松岡修造 // [著]	2012年12月
コメント① メディアによく登場するトップアスリートたちがどんな挫折をどう乗り越えていったか、興味深い。				
334.51	光文社	「生きづらい日本人」を捨てる 光文社新書 619	下川裕治 // 著	2012年12月
コメント① これも一つの、グローバル。				
579.9	ダイヤモンド社	僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。	出雲充 // 著	2012年12月
コメント① 自分の未来をこんな風に切り開いた人もいる…素晴らしいロールモデル。				
727.04	美術出版社	絵と言葉の一研究「わかりやすい」デザインを考える	寄藤文平 // 著	2012年12月
コメント① 「考える」とは？「言葉」とは？この本を読んで、一步先の思考にたどり着いてほしい。				
002	筑摩書房	学問の技法 ちくま新書 993	橋本努 // 著	2013年1月
コメント① 大学生向けに書かれた本だが、知的好奇心を刺激してくれる。高校生活のヒントにもなる。				
812	東京書籍	目でみることば	おかべたかし // 文、山出高士 // 写真	2013年2月
コメント① ことばを視覚で理解できて、思い出し笑いが増えそうです。				
319.1021	かもがわ出版	13歳からの拉致問題 弟と家族の物語 13歳からのあなたへ	蓮池透 // 著	2013年2月
コメント① 家族が訴える本当の拉致問題。簡単に読めるので、この問題も忘れないために…。				
289.1	講談社	自分を愛する力 講談社現代新書 2198	乙武洋匡 // 著	2013年3月
コメント① 自分のことが好きですか？一生向き合っていく自分自身を、もっと好きになろう。『五体不満足』から15年。乙武洋匡氏が自分の子供時代や3年間の教師生活を振り返りつつ記した「自己肯定感」の育て方。				
914.6	新潮社	人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか 新潮新書 510	森博嗣 // 著	2013年3月
コメント① 苦手意識が強いと思われる「抽象的」な思考についてわかりやすく書かれています。				
807	世界文化社	本当に「英語を話したい」キミへ	川島永嗣 // 著	2013年3月
コメント① 著者がどのように語学を上達させていったかという本ですが、「学び方」全般にも通じるかも。				
コメント② 言語習得は、習得した後で何がしたいか、きちんと目的があればぐんと成果が上がるそうです。				
813.1	角川学芸出版	学校では教えてくれない！国語辞典の遊び方	サンキュータツオ // 著	2013年3月
コメント① 国語辞典なんてどれも似たようなものだと思っていたら違うんです！				
336	日本能率協会マネジメントセンター	知的生産のための科学的仮説思考	竹内薫 // 著	2013年3月
コメント① 科学的思考は誰にとっても大切です。				
914.6	毎日新聞社	国民のコトバ	高橋源一郎 // 著	2013年3月
コメント① 「ことば」が心に届くとはどういうことなのか考えるきっかけに。				
914.6	メディアファクトリー	本当の大人の作法 価値観再生道場	内田樹 // 著、名越康文 // 著、橋口いくよ // 著	2013年3月
コメント① 対談形式。軽く読めるが、中身は重い…				
159.7	河出書房新社	自分はバカかもしれないと思ったときに読む本 14歳の世渡り術	竹内薫 // 著	2013年3月
コメント① バカは作られるんだそうだ。「やればできる」「いつかやる」…違う！今でしょ！そして続けることが大切。				
726.1	太田出版	ナガサレール イエタテール	ニコ・ニコルソン // 著	2013年3月
コメント① 東日本大震災の津波被害から、実家を建て直すまでの苦難をユーモアに包んで報告。				
	蜻文庫	まあ映画な、岡山じゃ！	世良利和 // 著、いしいひさいち // 絵	2013年3月
コメント① 嬉しい！岡山生まれの私にとっては、最も注目してほしい本。そだよねえー、岡山って景色がきれいだし、晴れの日が多いし、きっと撮影なんかもしやすいはず。ただ、岡山の美しさを象徴するあの映画が紹介されていなかったのが残念。				
911.132	創元社	もしも紫式部が大企業のOLだったなら	井上ミノル // 著	2013年4月
コメント① 小倉百人一首の世界を、パロディーマンガで楽しむ本。勉強になります。				
457.87	技術評論社	鳥類学者無謀にも恐竜を語る 生物ミステリー	川上和人 // 著	2013年4月
コメント① 近年、鳥類と恐竜の類縁関係が話題となっている。かつての恐竜少年たちに読んでもらいたい。				
816	朝日新聞出版	ぼくらの文章教室	高橋源一郎 // 著	2013年4月
コメント① 伝えたいことを、誰かに伝えられる文章って？書き手の生きざまが迫ってきます。				
910.268	講談社	野心のすすめ 講談社現代新書 2201	林真理子 // 著	2013年4月
コメント① 意思のあるところに道は開かれるのだと納得。				
916	岩波書店	綾瀬はるか「戦争」を聞く 岩波ジュニア新書 741	TBSテレビ『NEWS23』取材班 // 編	2013年4月
コメント① 綾瀬はるかが戦争体験者を訪問し、体験談を聞きます。				

377.21	東洋経済新報社	なぜ日本の大学生は、世界でいちばん勉強しないのか？	辻太一郎 // 著	2013年4月
コメント① 東大、早稲田であっても、世界と比べると大学生の質は…。日本の大学の危機を考じる一冊。				
702.16	講談社	ニッポン現代アート	高階秀爾 // 著	2013年4月
コメント① 見開き1Pに作品を解説。解説では、重要と思われるところが大きい文字になっていて単純に見やすい。				
400	名古屋大学出版会	科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳	伊勢田智治 // 編 戸田山和久 // 編 藤原佑志 // 編 村上祐子 // 編	2013年4月
コメント① 10のテーマを論じつつ、考え方の手法・流れも学ぶことができる。				
366.04	筑摩書房	「働く」ために必要なこと 就労不安定にならないために ちくまプリマー新書 196	品川裕香 // 著	2013年5月
コメント① 就職していく若者に、序章だけでも読んでみてほしい。身体や心を壊してまで働くことはないけれど、カンタンに辞めるのは勿体ないことだと知っておいて損はないと思う。				
779.14	メディアファクトリー	社会人大学人見知り学部卒業見込	若林正恭 // 著	2013年5月
コメント① 面白かった。若林さんの考えすぎ、しかも悪い方向にっつのはすごく共感。				
760.4	河出書房新社	学校では教えてくれない人生を変える音楽 14歳の世渡り術		2013年5月
コメント① この本を読んで、「音楽で人生って変わるんだ！」って衝撃を感じて欲しい。				
289.1	日経BP社	100歳、ずっと必要とされる人 現役100歳サラリーマンの幸せな生き方	福井福太郎 // 著 広野彩子 // 著	2013年5月
コメント① 100歳になっても会社から必要とされている福井さんの人柄や人生の考え方にハッとさせられる。				
331.844	小学館	まずいラーメン屋はどこへ消えた？ 「椅子取りゲーム社会」で生き残る方法 小学館101新書 164	岩崎夏海 // 著	2013年6月
コメント① インターネットにより大競争時代がやってきた。生き残るための視点、戦略を提案する。				
280	文藝春秋	世界を変えた10人の女性 お茶の水女子大学特別講義	池上彰 // 著	2013年7月
コメント① 「男女平等」が謳われる前、きっと多くの女性が「こんな世の中だから」と諦めた中、強く突き進んだ人や「女性こそがやるべきこと」を見つけた人がいる。彼女たちは決して聖女なんかではなく、泥臭く目の前のやるべきことに立ち向かった結果、名を残した人たちだったのだろう。女子校である本校の図書館				
330	河出書房新社	学校では教えてくれないお金の話 河出文庫 か25-1	金子哲雄 // 著	2013年9月
コメント① 今読むと、子供への金子さんの渾身のメッセージのように受け止められます。				
